

# 里帰り出産

---

お産が近くなったら実家に戻り、赤ちゃんが生まれたら手助けしてもらいながら子育てを始める、里帰り出産はお母さんの負担を軽くする選択肢の一つです。でも、病院を実家近くに変えなければならず心配ですよ。

里帰り出産は、慣れた実家で気軽に過ごせること、分娩も含めて自分の親の手助けを得ることで負担を軽くできること、その結果スムーズに子育てに慣れることができることなどの長所が考えられます。

その一方で、実家が受け入れられるかどうか、ご主人がお父さんとして触れあえる機会が減ってしまうこと、乳幼児を連れて里帰りから自宅に戻る移動の問題、戻った後の生活の急な変化にとまどう等の短所もあります。そして何より病院を探して転院しなければならない問題があります。これらの条件が合えば、里帰り出産の利点を生かして快適に過ごすこともできるでしょう。

里帰り出産には医学的に証明された有利な点があるわけではなく、特別な場合を除いて医師から医学的理由でお勧めすることはありません。しかし、ご希望があれば御相談に応じて、協力して里帰り分娩の計画を立てることができます。



桐生市、みどり市は里帰り出産に向いているといえるでしょう。

地域にある桐生厚生総合病院は、本格的な NICU(新生児未熟児センター)を備えた地域周産期母子医療センターです。双子の方のような場合でも対応することができます。市内の産科医院の先生方との連携も良好で、いつでも御相談に応じております。安心して里帰り出産できる地域ではないでしょうか。

円滑に里帰りできるための要点は、分娩予定日が決まって、つわり等も軽くなる 4ヶ月くらいで落ち着いたら一度初診していただくことです。そのときに分娩予約をとることができます。里帰りの時期は合併症のない場合で 9ヶ月、34~36 週くらいがいいでしょう。

外来・病棟の助産師さん看護師さんをはじめとするスタッフも里帰り出産の方の対応には慣れておりますので、ご心配な点があればお気軽にご相談ください。



【産婦人科診療部長 鏡 一成】

